

木々や花が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節となりました。暖くなるのはとても嬉しいのですが花粉症の人にとってはつらい季節の到来ですね…お客様のワンちゃんも昨今、花粉症が急増中です！さて今月号はそんな花粉症でも起こりうる『涙やけ』からお届けしようと思います！

涙やけとは??

本来、涙は涙管（るいかん）から鼻へと流れ出ていくものですが、何らかの原因で過剰に分泌され、常に溢れ出ている状態になってしまっています。その影響で毛色を赤茶色く染色してしまっている症状の事を一般的に涙やけといっています。

犬は、人間の様に「嬉しい」「悲しい」といった感情で涙を流す動物ではありませんので、別の原因を探ってみましょう。

代表的な原因

・目にゴミや毛が入っている場合

ゴミを取り除いてあげれば問題ありませんが、稀に逆さまつげが原因の事もあります。この場合は定期的に抜いてあげるなどの処置が必要になります

・鼻涙管のトラブルの場合

仔犬時代から継続して涙の量が多い状態が続いている場合は、生まれ持った鼻涙管のトラブルが考えられます。

・花粉症や食物アレルギーなど体質的な問題

決まった季節や場所で多量に涙が出る場合は花粉症
目の周りだけでなく全身の被毛に変化があり、発疹や痒がる仕草が多発する場合は食物アレルギーを疑ってみてもいいかもしれません。

・おしっこ環境のトラブル

水分が足りないと、身体の中の老廃物がおしっことして排出されず、目、耳、毛穴など、身体中の「穴」から滲み出てきます。
起きた直後のおしっこは若干色が濃くなりますが、日中、いつでも濃い黄色いおしっこをしている場合は、要注意！水分が足りていないことが考えられます。

・食物の中の添加物が涙腺をつまらせている

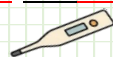
添加物や体質に合わないタンパク質は、涙管をはじめ、愛犬の様々な「穴」を詰まらせる原因となります。加工品である以上、ドッグフードやおやつには何らかの添加物が付加されているケースは少なくありません。

ビバスタッフの愛犬も一時期、過剰な涙の量に悩まされていましたが、フードをワンランク上げることで今では涙やけも取れ悩みも解消されました！お客様のワンちゃんでもフードを変えたら涙やけが軽減した！というお客様は多くいらっしゃいます。改善策の一つとして、試してみるのもいいかもしれません。



体調管理のバロメーターのひとつ、平熱。犬・猫の平熱って何度??

私達人間は 37℃～発熱があると言われ、自分でも微熱かな、体調が悪いと感じますよね。人間は 調子が悪いと思ったら、自分で暖かくでき、病院へ行けませんが、喋れないワンちゃん、猫ちゃん達にとっては 熱があっても自分では 何をする事も出来ません。少しの変化でも気づいてあげたいですね。
平熱を知っておくのも、体調管理に役立つかと思います。家では測れないという方は動物病院へ行った時に、測ってもらっても良いかもしれません。メモで記録しておく等しておきましょう。個体差がありますが、犬は **37.5℃～39.2℃** 猫は **38℃～39℃** が平熱と言われています。人と比べるととても高いんですね！



さて、4月から狂犬病のワクチン接種が始まりますね。この時期は殆どの子が動物病院へ行かれるのではないのでしょうか？日頃気になっていることなど獣医さんに相談出来る絶好のチャンスです！健康だから全く病院へ行かないという子も、飼い主様が日頃気付いたことなど、相談したいことをメモにまとめておくとも良いですね！

健康豆知識



ビバドッグ 八王子本店 八王子市寺町56-1 グレースヒルズ101

ご予約優先 ☎ 042-623-8115

営業時間 9:30-19:00 木曜定休 トリミング ビバドッグ 検索

